

平成21年第347回矢吹町議会臨時会

議事日程(第1号)

平成21年2月17日(火曜日)午後1時開会

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案第1号 平成20年度矢吹町一般会計補正予算(第6号)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(16名)

1番	青	山	英	樹	君	2番	竹	元	孝	夫	君	
3番	鈴	木	隆	司	君	4番	鈴	木	一	夫	君	
5番	藤	井	精	七	君	6番	棚	木	良	一	君	
7番	大	木	義	正	君	8番	角	田	秀	明	君	
9番	熊	田		宏	君	10番	永	沼	義	和	君	
11番	諸	根	重	男	君	12番	遠	藤		守	君	
13番	根	本	信	雄	君	14番	吉	田		伸	君	
15番	栗	崎	千	代	松	君	16番	柏	村		栄	君

欠席議員(なし)

地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長 野崎吉郎君 副町長 野地誠君

企画経営課長 圓谷誠君 保健福祉課長 根本孝一君

産業振興課長
兼農業委員会
事務局長 須藤源太君

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 内 藤 正 昭

主 幹 兼
局長補佐兼 水 戸 邦 夫
次 長

◎開会の宣告

○議長（柏村 栄君） 皆さんこんにちは。ご参集ありがとうございました。

ただいまの出席議員数は16名であります。

出席議員数が定足数に達しておりますので、これより第347回矢吹町議会臨時会を開会いたします。

(午後 1時00分)

◎開議の宣告

○議長（柏村 栄君） これより会議を開きます。

日程に入ります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（柏村 栄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により、

11番 諸 根 重 男 君

12番 遠 藤 守 君

を指名いたします。

◎会期の決定

○議長（柏村 栄君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

本臨時会の会期及び議事日程につきましては議会運営委員会において審議されておりますので、その審議結果について委員長より報告を求めます。

議会運営委員長、9番、熊田宏君。

[9番 熊田 宏君登壇]

○9番（熊田 宏君） 議場の皆さん、こんにちは。

本日第347回町議会臨時会が招集になりましたので、本日、午前10時から議会運営委員会を開き、今臨時会の運営について協議をいたしました。

協議に入る前に、町長から提出予定の議案について企画経営課長から説明を求め、さらに議長から提出された日程案について議会事務局長から説明を求めて協議いたしました結果、会期を本日2月17日の1日とし、議案審議につきましては議案第1号1件を全体審議とすることに協議が成立いたしました。

以上で議会運営委員会の報告といたします。ご審議よろしく申し上げます。

○議長（柏村 栄君） お諮りいたします。ただいま議会運営委員長報告のとおり、今臨時会の会期は本日2月17日の1日といたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） ご異議なしと認めます。

よって、会期は本日2月17日の1日と決定いたしました。

なお、議事日程及び議案説明のため出席を求めている者については、お手元に配付してあるとおりであります。

◎議案第1号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長（柏村 栄君） 日程第3、これより議案第1号を議題といたします。

事務局長に議案を朗読させます。

事務局長。

〔事務局長朗読〕

○議長（柏村 栄君） 提出者の説明を求めます。

町長、野崎吉郎君。

〔町長 野崎吉郎君登壇〕

○町長（野崎吉郎君） 議場の皆さんこんにちは。ご参集まことにありがとうございます。

それでは提案理由を説明させていただきます。

議案第1号 平成20年度矢吹町一般会計補正予算（第6号）についてであります。本案は既定の歳入歳出予算にそれぞれ3億1,381万4,000円を追加し、総額を59億3,451万3,000円とするものであります。今回の補正予算は、国の平成20年度第2次補正予算の成立に伴い、住民への生活支援を行う定額給付金給付事業、小学校就学前3年間の幼児教育期の第二子以降の子供を対象に特別手当を支給する子育て応援特別手当事業及び離職者の就業機会を創出し、地域経済の活性化に取り組む緊急雇用創出事業を実施するものであります。歳入の主な内容は、地方交付税2万2,000円、国庫支出金3億1,227万9,000円及び県支出金151万3,000円をそれぞれ増額するものであります。歳出の主な内容は、総務費が定額給付金給付事業により、2億9,907万5,000円の増額、民生費が子育て応援特別手当事業により1,322万6,000円の増額、労働費が緊急雇用創出事業により151万3,000円の増額となるものであります。

よろしくご審議のほどお願いいたします。

○議長（柏村 栄君） これより質疑に入ります。

質疑の発言を許します。

6番。

〔6番 棚木良一君登壇〕

○6番（棚木良一君） 議案第1号について質疑をいたします。

今回の定額給付金であります。矢吹町では2億9,906万円、歳入です。歳出で2億8,256万ということですが、我が町では、この給付対象者は全部で何人なのか、そしてまた、全員に給付できる体制、これなどについて

てはできているのか。そしてまた、この定額給付金については同じ2兆円を使うならばもっと有効な使い方があると各種世論調査でも7割から8割の方々が無価値と評価しない、反対だと、こういう声があるわけでありませうけれども、そしてまた、2年後には消費税の増税がセットされている、こういった定額給付金について、まさにばらまき一瞬、増税一生という言葉がぴたり当てはまるのではないかと思います。

今度の定額給付金について町長の見解をお聞かせいただきたいと思ひます。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

町長、野崎吉郎君。

〔町長 野崎吉郎君登壇〕

○町長（野崎吉郎君） 6番、棚木議員の質問に答弁をさせていただきます。

2.9億円、何人に支給されるのか、また全員に給付できる体制はきちっととっているのかというおたがいでございますが、これらについては、具体的な数字等については企画経営課長から答弁させていただきたいと思ひます。全員に給付できる体制、全員に給付できるようになるのかということについては、そのような考え方で、今、準備を取り進めているところでございます。

なお、総額2兆円にも及ぶ今回の定額給付金、もっと有効な活用があるのかとか、国民の7割以上の方が反対している、消費税の増税がその後予定されているとか、ばらまき体質だということではございますが、今回の定額給付金の指針については、先ほど答弁させていただきましたように、国の意向に基づいて私たち矢吹町におきましても、その案に基づいて、粛々と給付の対応をとらせていただきたいということでは答弁とさせていただきます。

以上です。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

企画経営課長、圓谷誠君。

〔企画経営課長 圓谷 誠君登壇〕

○企画経営課長（圓谷 誠君） それでは6番、棚木議員のご質問にお答えしたいと思います。

定額給付金の対象者ではございますが、今、考えておりますのがマックスの数値ということで1万2,000円の該当者が1万2,180人、2万円の対象者が6,820人ということで予算措置をしております。

以上でございます。

○議長（柏村 栄君） そのほかに何か。

14番。

〔14番 吉田 伸君登壇〕

○14番（吉田 伸君） 定額給付金の問題でありますけれども、この問題は、先ほど同僚議員のところへ出たんですけれども、国会の決議もまだ決まっていないうけで、どうなるかというのはやぶさかで、準備だとは思ひますけれども、そういうことも考えているのかどうか、もらえるということではなく、国会とすれば、これは審議がまだ決定しない、そういうことで対応にあるわけでは、それをもって議会のほうで決議をするにはそれだけの考え方もあるだろうと私は思ひますので、それを聞いておきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

町長、野崎吉郎君。

〔町長 野崎吉郎君登壇〕

○町長（野崎吉郎君） 14番、吉田議員の質問に答弁をさせていただきたいと思います。

定額給付金について、今、話題になっていることにつきましては、国会の決議もまだではないかと、そうした場合の対応について町としてどう考えるのかということですが、先ほども答弁させていただきましたように、今回の定額給付金については国の対応を見守りたいと、なおかつ、国会の動きについても見守りつつ、粛々と給付に向けた準備を進めていきたいというふうに考えておりますし、万一、国会の決議が得られないというときの対応等についても、さらに専決をさせていただいて、今回上げたものについての取りやめ等についても、その場その場の対応という形でとらせていただきたいというふうに考えておりますので、ご理解をさせていただきたいと思います。

以上です。

○議長（柏村 栄君） そのほかございませんか。

3番。

〔3番 鈴木隆司君登壇〕

○3番（鈴木隆司君） 先ほどから質問が続いています定額給付金について引き続き質問をさせていただきます。

この総支給額の約2億9,900何がしの中には、事務費も含まれているということですが、大変、これが実施された場合、煩雑な事務が予想されます。今のこの昨今の雇用対策といたしまして、この事務費を使って臨時職員の雇用を考えているのかどうか。

2点目は、総支給額約2億8,000何がしになると思うのですけれども、これが着実に地元で消費、効率的にされるように、町としてはどういった対策、方法を考えているのかをお聞きしたいと思います。

よろしくをお願いします。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

町長、野崎吉郎君。

〔町長 野崎吉郎君登壇〕

○町長（野崎吉郎君） 3番、鈴木隆司議員の質問に答弁をさせていただきたいと思います。

事務費の件、それから定額給付金の本来の目的である消費につながるのかと、この2点についてのご質問に答えさせていただきたいと思います。

事務費につきましては、今回、定額給付金の給付事務につきましては、ご指摘のとおり大変煩雑な事務ということになりますので、臨時職員の対応についてはこの事務費の中で計上し、きちっと手当てをしていきたいというふうに思っております。人数等については、この後、調整も含めて詳しい内容等については後日、皆様のほうにもお知らせしていきたいというふうに思っております。さらに、着実な消費ということで、地元へ2億9,000何何がお金がきちっとおりののかということにつきましては町の対応でございますが、現在、商工会のほうと地域商品券というようなことでの話し合いを持っている最中でございます。

なお、詳しい内容については、事務費については若干の内容等を企画経営課長に、さらには、今、商工会との協議の内容等については産業振興課長のほうから答弁をさせますので、ご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

企画経営課長、圓谷誠君。

〔企画経営課長 圓谷 誠君登壇〕

○企画経営課長（圓谷 誠君） 3番、鈴木議員のご質問にお答えをいたします。

事務費でございますが、今回の予算に計上させていただいております事務費につきましては、1,651万5,000円ほど計上させていただいております。

内訳につきましては、議案の項目別に上げさせていただいているところでございますが、特に臨時職員についてのご質問がございましたが、臨時職員につきましては3名を使いたいということで、今のところ考えております。その他の事業につきましては、大きい部分につきましては、通信運搬費ということでは、簡易書留で着実に本人のところに郵便で送るといふことの経費が約500万程度かかるのかなというふうに思っております。そのほかについては、いろんなデータの抽出する作業の経費ということで委託料が200万程度計上しているという状況でございます。中身については以上でございます。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

産業振興課長、須藤源太君。

〔産業振興課長兼農業委員会事務局長 須藤源太君登壇〕

○産業振興課長兼農業委員会事務局長（須藤源太君） それでは3番、鈴木隆司議員の質問にお答えいたします。

地元商工会等での商品券の発行の動きと申しますか、そういうお尋ねでございましたが、県内外の他自治体ではプレミアムつきの商品券の発行の動きがあるわけでございますが、町の商工会としても、現在、振興公社含めて関係者が鋭意協議しておりますが、最終的にはまだ固まってはございませんが、できるだけこの定額給付金の活用と申しますか、生きた使い方地元で消費してほしいというという視点で検討されておまして、プレミアムの幅、それから会員店舗以外の店舗での利用というふうなことも含めて、現在計画に協議をされておるわけで、町としても商工振興、地元消費というふうな視点で、鋭意、商工会と協議をしているところであります。その対応についてはいろいろな影響を含めて、慎重に検討してまいりたいというふうに思っております。

以上です。

○議長（柏村 栄君） そのほかにございせんか。

10番。

〔10番 永沼義和君登壇〕

○10番（永沼義和君） ただいま企画課長のほうから、この定額給付または子育て支援、これらの仕事に対して、臨時職員を3名というふうな答弁だと聞いたんですが、実はこの定額給付金、先ほど同僚議員のほうからも、この定額給付金については、まだ国会でも決定したわけではない、ほぼ、90%確定であろうかという中で各自自治体でも準備をしてきているところであるかと思いますが、そうした中で、3名の臨時職員はもう採用したのか、また、この3名の臨時職員という中で歳出のほうで約500万近くの臨時職員賃金、保険とかもろもろでその辺が出て行くのですが、いつからいつまでの予定なのか、3名の臨時職員の、その辺も聞きたいというふうに思います。

それと、今、いろいろと商品券云々、それに対してのことも答弁があったのですが、その辺も町商工会等、どの辺まで産業振興課、具体的なものが進んでいるのか、何かちまたではいろいろと町民の声も聞こえているところであります。その辺も、もうここにきて具体的な話が執行側としても出せるものと思っております。1つその辺も明快な答弁をお願いしたいなと思います。これに対してまた、電子計算機器のリース料なるもの、この辺も、使用料及び賃借料という中で、電算機器リース料51万7,000円またはその上の電算システム保守委託料、この辺はどういったものなのか、この辺も具体的に答弁していただきたいなと思います。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

町長、野崎吉郎君。

〔町長 野崎吉郎君登壇〕

○町長（野崎吉郎君） 10番、永沼議員の質問にお答えさせていただきます。

臨時職員3名、いつの時点で採用するのかというようなご質問の趣旨だと思いますが、まだ採用しておりません。国会の今回、予算関連法案が議決次第ということで考えております。予算の執行も同様でございます。

さらに、商品券について、商工会と産業振興会の中でどのくらいまで話し合いが進んでいるのだということですが、先ほど産業振興課長が答弁したとおりでございますが、なお、もう1度、産業振興課長のほうから繰り返しになりますけれども、答弁をさせますのでよろしくをお願いします。

さらに、今回の事務費の中で、システムのリース料というような内容でございますが、これらの内容等については企画経営課長のほうから答弁をさせますのでよろしくをお願いします。

以上で、私からの答弁とさせていただきます。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

企画経営課長、圓谷誠君。

〔企画経営課長 圓谷 誠君登壇〕

○企画経営課長（圓谷 誠君） 10番、永沼議員のご質問にお答えをいたしたいと思っております。

パソコン等のリース料のご質問でございますが、パソコン等につきましては単価2,520円のほうを7台、約1年間21万1,000円をリースしたいというふうに考えております。そのほかプリンターとして単価5,250円を12カ月ということでリースを考えております。そのほかシステム改修関係とか、いろんな印刷関係の委託につきましても、委託料として370万ほど計上しているということでございます。

以上でございます。

〔「ついでに聞きたいのだけれども、報償費、協力者謝礼というものがどんなものなのか、その辺もわからない」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） 課長、答弁してください。

〔企画経営課長 圓谷 誠君登壇〕

○企画経営課長（圓谷 誠君） 協力者謝礼のご質問がございましたが、これにつきましては、例えば、ご高齢の方でなかなか申請が容易でない方については、民生児童員の方々とか行政区の方にお世話になるということも想定できるのかなということ、いろんなことを想定しながら上げたということでの金額でございますので、ご了解賜りたいというふうに思います。

○議長（柏村 栄君） 答弁を求めます。

産業振興課長、須藤源太君。

〔産業振興課長兼農業委員会事務局長 須藤源太君登壇〕

○産業振興課長兼農業委員会事務局長（須藤源太君） それでは10番、永沼議員の質問にお答えさせていただきます。

先ほど、3番議員の鈴木議員さんに答弁したとおりであります。商品券の発行額の規模、それから時期、それからプレミアム分の費用負担等について具体的なことは詰まっております。とうことでご理解をいただきたいというふうに思います。

以上です。

○議長（柏村 栄君） そのほかにございせんか。

〔「臨時職員の期間、何カ月何日か」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） 臨時職員の期間。

企画経営課長、お願いします。

〔企画経営課長 圓谷 誠君登壇〕

○企画経営課長（圓谷 誠君） 臨時職員の期間のご質問でございますが、これは1人の方は13カ月ということで、3月から来年いっぱいくらいマックスで考えております。あとお2人の方は、7カ月ということで予算計上をさせていただいているということでございます。というのは、申請の受付期間が6カ月にわたるというような部分もございますので、一応マックスの数字を今回計上させていただいたということでございます。

以上です。

○議長（柏村 栄君） そのほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） 質疑なしと認め、これにて質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論の発言を許します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） 討論なしと認め、これにて討論は終結いたします。

これより議案第1号 平成20年度矢吹町一般会計補正予算（第6号）を採決いたします。

お諮りいたします。本案を原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（柏村 栄君） ご異議なしと認めます。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（柏村 栄君） 以上で本臨時会の日程は終了いたしました。

本日の会議を閉じます。

なお、引き続き、議員控室において全員協議会を開催いたしたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

これにて第347回矢吹町議会臨時会を閉会といたします。ご協力ありがとうございました。

(午後 1時29分)